



平成 29 年 10 月 31 日

各 位

会社名 三井造船株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田中 孝雄  
(コード：7003、東証第一部)  
問合せ先 財務経理部長 三宅 一徳  
(TEL 03-3544-3225)

## 平成 30 年 3 月期 第 2 四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 7 月 28 日に公表しました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と本日公表しました実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異  
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 350,000	百万円 △9,000	百万円 △4,000	百万円 △9,000	円 銭 △111.35
今回の実績値 (B)	341,527	△9,059	△4,792	△5,890	△72.88
増 減 額 (B-A)	△8,472	△59	△792	3,109	—
増 減 率 (%)	△2.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	322,174	△2,330	337	3,925	48.56

※ 平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として 10 株を 1 株とする株式併合を実施したため、平成 29 年 3 月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

### 2. 差異の理由

売上高は、エンジニアリングセグメントにおいて若干予想値を下回ったものの、他のセグメントにおいては予想通りに推移しました。損益面では、営業損失はほぼ予想通りでしたが、持分法による投資利益が想定を下回ったことから経常損失は増加しました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、特別利益として投資有価証券売却益(約 39 億円)を計上したことなどにより前回予想から改善しました。

通期の業績予想につきましては、平成 29 年 7 月 28 日に公表した数値を据え置いております。

以上